

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年6月9日 No.55

原告全員の救済、訴訟の無条件・全面解決を！

福田首相の政治決断もとめ明日から第2次座り込み

原爆症認定集団訴訟全国原告団、同弁護団、同支援ネットは6月9日正午から、首相官邸前で原告全員の認定を福田首相に求める緊急行動を行いました。

集まった80人は「原告全員救済」「訴訟全面解決」と紙を貼ったビニール傘をさし、横断幕で首相官邸にアピール。急ぎょ内閣官房長官秘書官への要請が実現しました。

山本英典・全国原告団長、波多野明美・仙台原告、井上保・熊本原告に田中熙巳・日本被団協事務局長と宮原哲朗・全国弁護団連絡会事務局長が同行し、日下正周・内閣官房長官秘書官に要請書と原爆症認定制度の抜本改定を求める署名70万筆のうち、5千筆の現物を手渡しました。



日下秘書官（左端）に要請する右から田中日本被団協事務局長と山本原告団長

日下秘書官は「訴訟については現在検討中。首相と官房長官に伝える」と述べました。

原告団と弁護団は同日会見を開き、福田首相との面談と政治決断を求めて明日から第2次座り込みに入ることを報告しました。

【明日からの行動スケジュール】

6/10(火) 11:00～18:00 第2次座り込み（日比谷公園、第1次と同じ場所）

6/11(水) 10:00～18:00 第2次座り込み（日比谷公園、同） 仙台高裁判決上告期限

6/12(木) 10:00～16:00 第2次座り込み（日比谷公園、同）

6/13(金) 大阪高裁判決上告期限

3日間テントに被爆者が座り込みます。ぜひ激励に駆けつけて下さい。（差し入れも歓迎）

原水爆禁止四国大会ひらくー徳島

第54回原水爆禁止四国大会（原水爆禁止四国ブロック協議会主催）が、6月7日午後～8日正午の日程で、徳島県郷土文化会館で開かれました。

開会総会は約300人が参加、手話コーラスに続き、安齋育郎氏（立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長）が記念講演。被爆国政府がアメリカの核の傘に依存している、「もしも安齋育郎が総理大臣になったら」防衛省を廃止して平和省を設置し、平和的イニシアティブを強く推進しますと、ユーモアとマジックもある話に笑いと拍手の90分。

原爆症認定制度などにふれた主催者や被爆者などの挨拶・メッセージ。平和行進や署名推進など各県の活動報告に連帯と確信が高まりました。

交流会や分散・分科会も盛り上がり、閉会総会では「核兵器なくそう 徳島からのよびかけ」決議を採択しました。



開会総会で講演する安齋育郎氏